

再評価時再評価結果(平成27年度)


担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 : 大和 章人

事業の概要

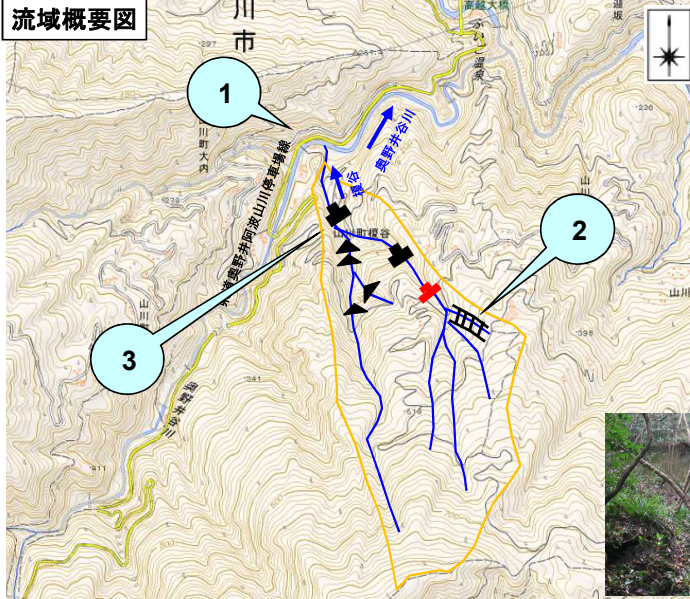
| | | | | | |
|-----------|---|------|-------------|------|-----|
| 事業名 | 通常砂防事業 | 事業区分 | 通常砂防事業 | 事業主体 | 徳島県 |
| 事業箇所 | 徳島県吉野川市山川町榎谷 | 箇所名 | 一級吉野川水川田川榎谷 | | |
| 事業概要 | 砂防堰堤1基 | | | | |
| 事業の目的・必要性 | 本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路・橋梁に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 当地区内には、人家4戸や集会所があり、地域住民の人命や財産を守るため、平成11年度より通常砂防事業に着手した。 | | | | |
| 総事業費 | 195 百万円 | | | 進捗率 | 9% |


位置図 計画概要図




榎谷通常砂防事業

流域概要図






①榎谷(全景)



②治山山腹工(上流側)



③既設堰堤(下流側)

凡例

- 砂防堰堤(予定)
- 砂防堰堤(既設)
- ▲ 治山施設(既設)
- 治山山腹工(既設)

事業評価結果

| 事業全体の投資効率性 | 基準年度 | B/C | 残事業B/C | 総費用 | 総便益 |
|------------|--|-----|--------|-------------------|-------------------|
| | 平成27年度 | 0.4 | 0.5 | 1.9億円 ; 用地費・工事費 等 | 0.8億円 ; 人家1戸、道路 等 |
| 社会経済情勢等の変化 | 保全対象である榎谷集会所が移転により保全対象から外れた。H25.11月に土砂災害警戒区域を指定するなど、土砂災害に対して地域の防災面の向上に努めている。 | | | | |
| 事業の効果等 | <ul style="list-style-type: none"> ・保全対象の人家1戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果) ・ソフト対策である土砂災害警戒区域の指定と併せて、地域の防災力の向上を図る。 | | | | |
| 事業の進捗状況 | これまでに地形測量・詳細設計・用地測量を実施、用地は未買収である。現在の進捗率は事業費ベースで9%である。 | | | | |
| 事業進捗の見込み | 保全対象が移転するなど総便益が減少し、事業進捗が見込めない。 | | | | |
| 対応方針 | 事業中止 | | | | |
| 対応方針理由 | 事業着手時期と比べ、保全対象である集会所が移転するなど総便益が減少し、総合的に判断した。 | | | | |

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

中止の理由

平成11年度の事業着手時期と比べ、保全対象が移転するなど、総便益が減少した。
同溪流上流側では、治山事業による山腹工等の整備が図られ、溪流の荒廃対策が進んでいる。また土砂災害警戒区域によるソフト対策も完了しており、防災面に対する意識の向上に努めている。
これらの状況を総合的に判断し、事業を中止する。